

富士通ラーニングメディア
ITスキル診断サービスSkillCompass(R)/IT pro <ITスキル標準対応版>
診断システム/価格の変更、および対応職種追加を行い3月30日より提供開始
—9職種14専門分野に対応—

年間約20万人の研修を行う国内最大規模の総合人材研修企業 株式会社富士通ラーニングメディア(代表取締役社長:金子武彦、本社:東京都大田区)は、経済産業省のITスキル標準(注1)対応版として、日本で初めて提供しているスキル診断サービス【SkillCompass(R)/IT pro ITスキル標準対応版】(注2)を大幅にリニューアル、従来の約8割に価格を見直し、2004年3月30日より販売を開始いたします。

当社のITスキル診断分野への取り組みは、1997年に始まり、2000年3月より客観性を重視したテストによる診断実施、蓄積された他社データとの比較等のサービスを特長とし、これまでに177社約3万6千人にご利用頂いております。そのうちITスキル標準版は、2003年2月のサービス開始以来、28社6千5百人の導入実績があります。

今回のリニューアルでは、ITスキル標準で定義されているスキル熟達度(知識)と達成度指標(経験)を基軸とし、ITスキル標準のレベルに合わせた総合判定を行う他、ユーザーインターフェースの向上も図っております。既存職種および専門分野に関しても、スキル項目とテスト問題の見直しを行い、さらに、スキルの分析報告書(スキルパワー分析報告書)もリニューアルいたしました。また、既存の8職種11専門分野に、新たに『ITスペシャリスト(セキュリティ)/カスタマサービス(ハードウェア)/オペレーション(カスタマサポート)』の3職種3専門分野を追加し、対応職種は9職種14専門分野となりました。この度のシステム変更および対応職種の増加により、ITスキル標準を意識した効率的な人材の育成が可能となります。

当社では、ITスキル標準の11職種(未対応のマーケティング、エデュケーションの2職種への対応等)について診断内容を拡張するなど、今後ともIT技術者のスキルアップに貢献するとともに、IT業界およびビジネス全般のユーザーの皆様にご満足いただけるよう人材育成に関する各種サービスを提供してまいります。

注1 ITスキル標準とは

2002年12月に経済産業省が策定し、公表した、各種IT関連サービスの提供に必要な実務能力を体系化した指標であり、ITサービス・プロフェッショナルの育成を図る上での辞書(共通枠組)となるものです。IT産業における「コンサルタント」や「プロジェクトマネジメント」、「ITアーキテクト」などを始めとした11職種が規定され、それぞれがさらに38種類の専門分野に細分化されています。個人の能力や実績については、7段階のレベルを設定し、これまで各社別々に規定されていた各技術者の能力レベルの共通化を目指しています。

注2 SkillCompass(R)とは

2000年3月よりサービスを開始、現在まで177社3万6千名の顧客にご利用頂いているIT技術者、営業担当者、PCユーザーを対象に、保有スキルを数量化して診断するサービスです(パーソナリティ診断サービスおよび人材育成のパフォーマンス診断サービスを含めたCompassシリーズのトータルでは約240社4万7千名にご利用頂いております)。2003年2月からは経済産業省が策定した『ITスキル標準』をベースとしたスキル診断サービスを提供開始し、専門分野別のスキル診断により『コンサルタント』や『プロジェクトマネジメント』など、自らの目指すキャリアや磨くべきスキルを鮮明に意識した能力開発が可能となり、IT技術者のプロフェッショナル化とITサービス産業の競争力強化を促進します。

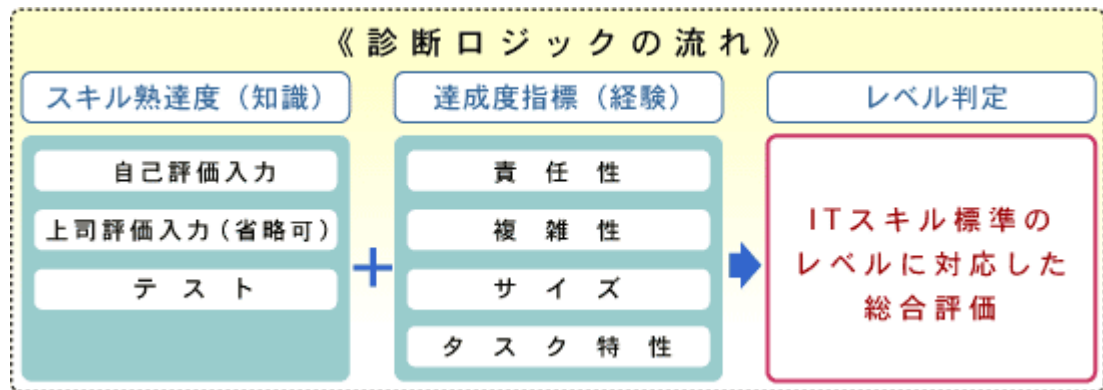
現在提供中の職種

セールス、コンサルタント、ITアーキテクト(アプリケーション、セキュリティ)、プロジェクトマネジメント、ITスペシャリスト(システム管理、データベース、ネットワーク)、アプリケーションスペシャリスト、ソフトウェアディベロップメント、カスタマサービス

【新サービスの特徴】

(1) 診断ロジックの変更

ITスキル標準でのレベル判定の基準は、スキル熟達度(知識)と達成度指標(経験)です。SkillCompass(R)では、以下の図に示すとおり、スキル熟達度と達成度指標によるレベルの判定を行います。



(2) レベルの判定

診断レポート(結果)は、以下の図のようにITスキル標準のレベルに合わせて表示します。判定レベルに関しましては、該当職種・専門分野の対応レベル範囲としますが、富士通ラーニングメディア独自に『未達成レベル』を追加しました。未達成レベルの範囲は、各職種により異なります。職種共通として、未経験・知識なしの『レベル0』を設定します。なお、テストによる判定は、レベル5までとし、レベル6およびレベル7については、達成度指標により判定します。

メニュー | 個人情報変更 | パスワード変更 | 操作ガイド | 診断中止 |

職種設定

目標レベル設定

スキル調査

目標スキル設定

テスト

→ 診断レポート

ITアーキテクト (アプリケーション) 診断レポート

2004年02月04日

所属: 富士通ラーニングメディア	部門名: 第一研修ソリューション部
氏名: 富士 通夫	ID: fuji

1. グレード

職種	専門分野	診断回	未経験・知識なし		エントリレベル			ミドルレベル		ハイレベル	
			0	1	2	3	4	5	6-7		
ITアーキテクト	アプリケーション	今回								■□	
ITアーキテクト	アプリケーション	前回		■						□	

グレードは、あなたが選択したキャリアについての総合的な判定です。
■は診断結果としてのグレードを表し、**□**は目標とするグレードを表しています。
 過去の受験者のグレード別人数分布(あなたが選んだキャリアでのグレード別人数分布)を参考に、あなたの判定の位置づけを確認して下さい。また、グレードとあなたが申告した実務経験との相違を確認して下さい。

■ あなたが選んだキャリアでのグレード別人数分布

レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6-7
9.8%	23.1%	25.3%	19.6%	13.7%	6.1%	2.2%

富士通ラーニングメディア
富士通夫 さん
ID: fuji
職種: ITアーキテクト-アプリケーション

- [はじめに](#)
- [総合診断レポート](#)
- [評価値について ?](#)
- [スキルフレームワーク ?](#)
- [職種別診断レポート](#)

【活用メリット】

[IT技術者個人]

- ITスキル標準における自己のレベルを知るとともに、得意分野と苦手分野を把握できます。
- プロフェッショナルとして更にキャリアアップするために役立つ、強化ポイントと具体的なカリキュラム(弊社研修)が推奨されます。

[ITサービス企業]

- ITスキル標準に基づいた自社の強みと課題を数量的に把握することにより、企業戦略と連動した効率的な教育研修を実施できます。
- ITスキル標準のレベルを目安にプロジェクト要員をアサインすることができます。
- 専門分野別のスキル診断により、『コンサルタント』や『プロジェクトマネジメント』など、特定人材に照準を当てた人材育成が可能となります。
- 派遣社員や採用候補者のスキルを事前に診断し、派遣後、又は採用後のミスマッチを防止できます。

【発売日】

2004年3月30日

【価格】

一人あたり :

	対象人数	旧価格(税別)	新価格(税別)

1人～100人	13,000円	10,000円
101人～500人	11,000円	9,000円
501人～2,000人	9,000円	7,000円
2,001人～	7,000円	5,000円

導入基本料：100,000円(税別)

【販売目標】

初年度50社1万5千名の利用(総額 約1.5億円)を見込んでいます。

なお本システムは、当社のITスキル標準に対応した評価基準によって判定しているもので、ITスキル標準のレベルを認定するものではありません。また、ITスキル標準の見直し等諸事情により、レベル判定の見直しは適宜行っていきます。

以上

[◀元のページへ戻る](#)

[ページの先頭へ ▶](#)

●報道関係問い合わせ先

株式会社富士通ラーニングメディア

社長室 広報担当

電話：03-3730-3982

[📧 お問い合わせフォーム](#)

URL：<http://www.flm.fujitsu.com/>

●お客様問い合わせ先

株式会社富士通ラーニングメディア

営業本部

電話：03-3730-3109

[📧 お問い合わせフォーム](#)

URL：<http://www.knowledgewing.com/>

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。